

朝鮮学校コミュニティにおける 話し言葉での非縮約形の 多用に関する考察



名古屋大学大学院 人文学研究科
權恩熙(권은희)・宇都木昭

「朝鮮学校コミュニティ」とは

朝鮮学校を中心に形成されている在日コリアン・オールドカマーのコミュニティ

朝鮮学校コミュニティの構成員 (朴2016による)

- ① 朝鮮学校卒業もしくは通った経験のある人たち
- ② 親兄弟・子ども・親族などが通った経験を持ち(現在含む)ながらも、その人たちとの交流がある人たち
- ③ バザーをはじめ学校や父母会などを主催者とするさまざまな行事に集う人々や、その人たちとの交流(付き合い)がある人たち

朝鮮学校コミュニティ

オールドカマー1世



オールドカマー2世

在日朝鮮語 (共有・継承)



オールドカマー3世

在日朝鮮語 (共有・継承)



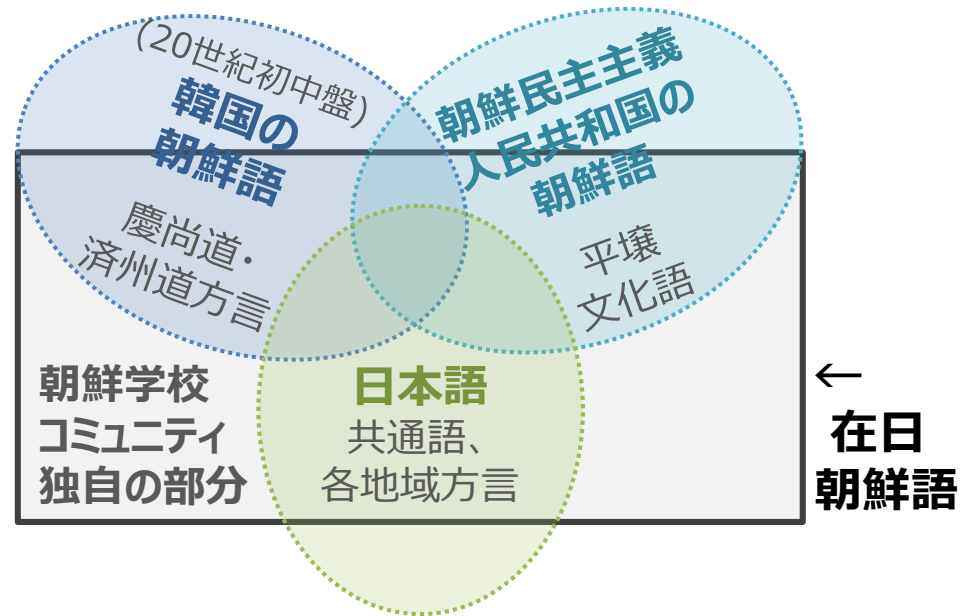
オールドカマー4世～(現在)

朝鮮学校

なぜ「朝鮮学校コミュニティ」か

✓ 朝鮮学校コミュニティでは、学校の授業および同胞が集まるイベント、総聯傘下団体の公的な場などでは未だに朝鮮語が生活語として使用されており、このような「**擬似朝鮮語社会としての言語空間**」(植田2009:139)は本国との交流がほぼ断絶されたまま半世紀以上が維持されている。

✓ 彼らの朝鮮語は「**方言使用如何を含む世代差や本国の親戚の共和国の規範語・韓国の規範語、あるいは社会の日本語の間で、多方面からの影響**」(植田2009:139)を受けた重層性のある朝鮮語となっている。



しかし、外部に閉鎖的なコミュニティであるとの認識があるせいか、具体的な言語使用様相についてはあまり研究がなされていない。

本発表のきっかけ

疑問	朝鮮学校コミュニティにおいて使用されている朝鮮語が、 韓国の朝鮮語母語話者に硬い感じを与えるのはなぜか。
仮説	(先行研究によれば) 書き言葉としての性格が強い表現が 話し言葉においても使用されているからかも知れない
検証	朝鮮学校コミュニティにおいて話し言葉で使用されている 「書き言葉としての性格が強い表現」を見つけ、使用率を確認

→ 임영철·권은희(2012)である程度解決

しかし、文語体の口語化現象について幅広く扱った基礎的研究であったため、非縮約形の使用に関してはごく一部(事物代名詞+助詞、人称代名詞+所有格助詞)のみを見ている。また、扱っている言語資料もドキュメンタリー資料のみで、量的に少ない。

先行研究における在日朝鮮語(口語)の特徴

- ✓ 「朝鮮語文語表現の口語使用…(中略)…教授用語は文語的であり、これが学生たちの日常用語として定着」(イリーナ・キム1994:190)
- ✓ 「本国の口語形態に対する不慣れ」(朴浩烈2007:114)
- ✓ 「とりわけ口語は基本的に日本語の影響を強く受けつつ、朝鮮文化語の書き言葉を話し言葉化したもの」(植田晃次2009:117)
- ✓ 「在日朝鮮語では「事物指示代名詞＋助詞」の非縮約形、つまり「文語体」が多用されていた…(中略)…口語では「人称代名詞＋所有格助詞」の非縮約形の出現が目立つ」(임영철・권은희2012:220, 222)

→ いずれも定量的調査を伴っておらず、断片的な印象の記述に止まっている。임영철・권은희(2012)の場合は実際の発話に基づき検証作業を行っているが、「非縮約形」の多用現象は一部のみを扱っており、言語資料もドキュメンタリー作品に限られている。

研究目的

「在日朝鮮語」を特徴づけるモノのひとつと考えられる、
「話し言葉での非縮約形の多用」現象について実証的に
概観・記述し、その背景に関して考察を試みる。

検証したいこと

- ① 朝鮮学校コミュニティでは本当に非縮約形が多用されているか。
(研究者の直感に過ぎないのではないか)
- ② 具体的にどのような非縮約形が多用されているか。
- ③ 多用されている非縮約形とそうでない非縮約形の違いは何か。

言語資料①

ドキュメンタリーにおける 自然発話

- ① 朝鮮学校を扱っているドキュメンタリー 7 点
- ② 中部地域にある朝鮮学校の中級部授業 2 回と
高級部授業 5 回を録音したもの

<映像資料の目録>

	放映	監督名	プログラム名	映像物の題目	取材学校	時間
①	2005	박기홍	SBS스페셜10화	나는 가요-도쿄, 제 2학교의 여름- (私は行きます-東京、第2学校の夏-)	東京朝鮮第2初級学校	61分
②	2007	박기홍	SBS스페셜83화	도쿄, 제 2학교의 봄 (東京、第2学校の春)	東京朝鮮第2初級学校	55分
③	2007	박기홍	SBS스페셜95화	자이니치 60년 학교 가는 길 (在日60年、学校に行く道)	東京朝鮮第1初中級学校 & 東京朝鮮第2初級学校	53分
④	2007	김철민	KBS1TV열린채널	민족학교에 가다 (民族学校に行く)	京都朝鮮第3初級学校	24分
⑤	2007	김명준	ドキュメンタリー映画	우리학교(우리ハッキョ)	北海道朝鮮学校	132分
⑥	2007	김명준	ドキュメンタリー映画 (DVD特典映像)	우리학교-못 다 전한 이야기- (우리ハッキョ-伝えきれなかった話-)	北海道朝鮮学校	37分
⑦	2014	이일하	ドキュメンタリー映画	울보 권투부 (울보-泣き虫ボクシング部-)	東京朝鮮中高級学校	86分

言語資料②

朝鮮学校の授業談話 (授業中の私語も含む)

- ① 朝鮮学校を扱っているドキュメンタリー 7 点
- ② 中部地域にある朝鮮学校の中級部授業 2 回と
高級部授業 5 回を録音したもの

<授業談話の目録>

	学年	科目名	担当教員の 出生地	担当教員の 本籍(1世の故郷)	担当教員の 世代	時間
①	中級部	国語(朝鮮語)	愛知	韓国 慶尚南道	3世	39分
②	中級部	国語(朝鮮語)	東京	韓国 慶尚南道	4世	37分
③	高級部	国語(朝鮮語)	愛知	韓国 慶尚南道	4世	43分
④	高級部	国語(朝鮮語)	愛知	韓国 慶尚南道	4世	38分
⑤	高級部	社会	岐阜	韓国 慶尚南道	3世	43分
⑥	高級部	物理	長野	韓国 慶尚南道	4世	42分
⑦	高級部	物理	愛知	韓国 慶尚南道	4世	42分

研究方法

言語資料における在日コリアンの発話を、
話し手と聞き手の職業や性別、場面の格式度、
発話状況などを併記して文字化する。



言語資料における在日コリアンの発話の中で、
非縮約形と縮約形の対立がある表現をピックアップする。



非縮約形と縮約形の具体的な出現率を比較し、
朝鮮学校コミュニティにおける「非縮約形の多用現象」を
検証する。

「非縮約形」とは

音節数・音素数が減少していない元の形

韓国

본딿말(本来の言葉), 본말(元の言葉),
본래의 어형(本来の語形), 원형(原形) など

日本

原形 など

「縮約形」とは

元の形から音の脱落や融合が起こり、音節数・音素数が減少した形

韓国

준말(縮み語), 준 끝(縮んだ形), 줄인 끝(縮めた形),
줄임말(縮めた言葉), 축소어형(縮小語形),
융합형(融合形), 축약형(縮約形) など

日本

縮約形、略語、短縮語 など

本稿において「縮約形」として扱わないもの

① 複合語短縮(略語)

例) 노조(노동조합), 강력 추천(강추), 아침 겸 점심(아점)

② 縮約形と非縮約形の意味が異なるもの

例) 하잖아(하지 않아), 좀(조금), 귀찮다(귀하지 아니하다)

③ 縮約形のみが使用されているもの

例) 온갖(온가지), 안돼(안되어), 따님(딸님), 차갑다(차가웁다)

④ 統語的単位で縮約が起こるもの

例) 이래봐도(이렇게 보여도), 쉬럽니다(쉬려고 합니다), 대요(다고 해요)

※ 권성미(2015)における「음절이 줄어드는 과정이 투명한 준말 (音節が縮む過程が透明な縮み語)」を参考に作成



研究結果

1) 単語内部

非縮約形		縮約形		全体合計
形態	出現頻度	形態	出現頻度	
이것	1 (1.0)	이거	103 (99.0)	104 (100)
그것	0	그거	7 (100)	7 (100)
무엇	0	뭐	49 (100)	49 (100)
마음	35 (100)	맘	0	35 (100)
아이(들)	21 (40.4)	애(들)	31 (59.6)	52 (100)
이야기	35 (85.4)	얘기	6 (14.6)	41 (100)
제일	20 (100)	젤	0	20 (100)
조금	40 (55.6)	좀	32 (44.5)	72 (100)
가지고	44 (100)	갖고	0	
때문(에)	132 (100)	땀(에)	0	132 (100)
그러니까	62 (89.9)	그니까	7 (10.1)	69 (100)
그러면	85 (75.2)	그럼	27 (24.8)	112 (100)
그런데	17 (89.5)	근데	2 (10.5)	19 (100)
그리고	50 (100)	글고	0	50 (100)
왜냐하면	2 (100)	왜냐면	0	2 (100)
非縮約形 合計	544 (67.3)	縮約形 合計	274 (32.6)	808 (100)

1) 単語内部

実際の発話例

(1) 그것을 역시 **이야기** 나누면서 알 수가 있지요.

[高級部生徒(女)→監督(男)/インタビュー/寮の部屋]

(これを着ると、なんか朝鮮の人としての意識が高くなるというか)

(2) 외우고 있습니까? **그러니까** 말하는 소리 다릅니다. [高級部生徒(女)→教員(男)/雑談/教室]

(覚えていますか? だから言ってることが違います)

(3) え, **그러면**, え, 시험지 접으시오. [教員(男)→高級部生徒(男)/授業/教室]

(え、それでは、え、テスト用紙を半分に折ってください)

(4) **조금** 들으라! [初級部生徒(男)→初級部生徒(男女)/雑談/キャンプ場]

(僕たぶんこれが間違ってます)

(5) 어? 회장에서 **가지고** 돌아와. [ボクシング部のコーチ(男)→高級部生徒(男)//教室]

(あ? 会場から持って来い)

2) 単語以上の単位 ①体言+助詞

構造		非縮約形		縮約形				合計
				縮約形①		縮約形②		
事物指示代名詞・形式名詞	助詞	形態	出現頻度	形態	出現頻度	形態	出現頻度	
이것・그것・저것 用言の冠形形 (日本語の連用形) +것	으로	것으로	21 (100)	걸로	0	거로	0	21 (100)
	으로서	것으로서	4 (100)	걸로서	0	거로서	0	4 (100)
	은	것은	168 (87.5)	건	15 (7.8)	거는	9 (4.7)	192 (100)
	을	것을	113 (89.0)	걸	11 (8.7)	거를	3 (2.3)	127 (100)
	이	것이	109 (90.8)	게	11 (9.2)	거가	0	120 (100)
	이라고	것이라고	6 (66.7)			거라고	3 (33.3)	9 (100)
	이라도	것이라도	0			거라도	1 (100)	1 (100)
	에	것에	13 (100)			거에	0	13 (100)
	이야	것이야	0			거야	1 (100)	1 (100)
	이에요	것이예요	1 (50.0)			거예요	1 (50.0)	2 (100)
	이니까	것이니까	2 (50.0)			거니까	2 (50.0)	4 (100)
	이지요	것이지요	2 (66.7)			거지요	1 (33.3)	3 (100)
	입니다	것입니다	44 (89.8)			겁니다	5 (10.2)	49 (100)
	입니까	것입니까	3 (75.0)			겁니까	1 (25.0)	4 (100)
			非縮約形 合計	486 (88.4)	縮約形① 合計	37 (6.7)	縮約形② 合計	27 (4.9)
縮約形合計					64 (11.6)			

2) 単語以上の単位 ①体言+助詞

実際の発話例

(6) **그것으로** 나하고 ●●이가 犠牲, 犠牲 되었습니다. [高級部生徒(男)→監督(男)/雑談/教室]

(それで僕と[人名]が犠牲、犠牲になりました)

(7) **이것은** 센스가問われるから. [教員(男)→高級部生徒(男女)/雑談/教室]

(これはセンスが問われるから)

(8) **그것을** 입으면 뭔가 조선 사람으로서의 의식이 커진다고 할까?

[高級部生徒(女)→監督(男)/インタビュー/寮の部屋]

(それを着ると、なんか朝鮮の人としての意識が高くなるというか)

(9) 나 아마 **이것이** 틀리고 있습니다. [高級部生徒(男)→監督(男)/雑談/教室]

(僕たぶんこれが間違っています)

(10) 결국 그들의 생활을, 예, 조금, 조금 낮춰보고 있었던 **것입니다**.

[教員(女)→高級部生徒(男女)/授業/教室]

(結局彼らの生活を、はい、少し、少し見下していたのです)

2) 単語以上の単位 ①体言+助詞

元の構造		非縮約形		縮約形		全体 合計
疑問代名詞	助詞	形態	出現頻度	形態	出現頻度	
무엇	에(도)	무엇에(도)	3 (100)	뭐에(도)	0	3 (100)
	에서	무엇에서	2 (100)	뭐에서	0	2 (100)
	으로	무엇으로	2 (100)	뭘로/뭐로	0	2 (100)
	을	무엇을	23 (85.2)	뭘/뭐를	4 (14.9)	27 (100)
	이	무엇이	16 (94.1)	뭐가	1 (5.9)	17 (100)
	이야	무엇이야	0	뭐야	7 (100)	7 (100)
	이라(고)	무엇이라(고)	5 (55.6)	뭐라(고)	4 (44.4)	9 (100)
	이라도	무엇이라도	1 (50.0)	뭐라도	1 (50.0)	2 (100)
	인가	무엇인가	22 (62.9)	뭔가	13 (37.1)	35 (100)
	인지	무엇인지	0	뭔지	1 (100)	1 (100)
	일까(요)	무엇일까(요)	2 (100)	뭘까(요)	0	2 (100)
	입니까	무엇입니까	4 (100)	뭔니까	0	4 (100)
		非縮約形 合計	80 (72.1)	縮約形 合計	31 (27.9)	111 (100)

2) 単語以上の単位 ①体言+助詞

実際の発話例

- (11) 무엇을 '고향'이라고 부르는가? [初級部生徒(男)→初級部生徒(男)/雑談/運動場]
(何を「コヒャン」って言うの?)
- (12) 오늘 무엇이 가장 맛있었습니까? [父母・教員(男)→初級部生徒(女)/雑談/家]
(今日何が一番おいしかったですか?)
- (13) 우리들의 의견 듣지 않고 무엇이랴도 해버리게 되기 때문에 납득 안 합니다.
[高級部生徒(女)→教員(男)/雑談/教室]
(私たちの意見を聞かずに何でもやっちゃうので納得しせん)
- (14) ●●, 무엇인가 말하라. [高級部生徒(女)→高級部生徒(女)/雑談/教室]
([人名]、何か言って)
- (15) 선생님, '親孝行' 우리말로 무엇입니까? [初級部生徒(男)→教員(女)/雑談/教室]
(先生、「親孝行」って私たちの言葉で何ですか?)

2) 単語以上の単位 ①体言+助詞

元の構造		非縮約形		縮約形		全体 合計
人称代名詞	助詞	形態	出現頻度	形態	出現頻度	
나	의	나의	15 (88.2)	내	2 (11.8)	17 (100)
저		저의	1 (50.0)	제	1 (50.0)	2 (100)
너		너의	0	네	1 (100)	1 (100)
나	를	나를	2 (66.7)	날	1 (33.3)	3 (100)
나	는	나는	29 (100)	난	0	29 (100)
저		저는	8 (100)	전	0	8 (100)
너		너는	7 (87.5)	넌	1 (22.5)	8 (100)
		非縮約形合計	62 (80.0)	縮約形合計	6 (20.0)	20 (100)

実際の発話例

- (16) 나의 방 모이고 모두로 이야기했던데. [高級部生徒(男)→監督(男)/インタビュー/寮]
(僕の部屋に集まって皆で話したそうで)
- (17) 이런 나를 3년 간 보아주고 고맙습니다. [高級部生徒(男)→高級部生徒(男)/雑談/部室]
(こんな僕を3年間見てくれてありがとうございます)
- (18) 나는 남조선에 있어요, 친척은. [初級部生徒(男)→監督(男)/インタビュー/教員室]
(僕は南朝鮮にいます、親戚は)

2) 単語以上の単位 ②用言の語幹+語尾

元の構造		非縮約形		縮約形		全体 合計
語幹	語尾	形態	出現頻度	形態	出現頻度	
語幹末: ㅣ (代表例: 피다)	-어/아	피어	4 (11.4)	퍼	31 (88.6)	35 (100)
	-었/았	피었	1 (1.4)	폈	72 (98.6)	73 (100)
語幹末: ㅏ (代表例: 보다)	-어/아	보아	6 (50.0)	봐	6 (50.0)	12 (100)
	-었/았	보았	19 (79.2)	봤	5 (20.8)	24 (100)
語幹末: ㅗ (代表例: 주다)	-어/아	주어	7 (63.6)	줘	4 (36.4)	11 (100)
	-었/았	주었	18 (90.0)	줬	2 (10.0)	20 (100)
語幹末: ㅜ (代表例: 되다)	-어/아	되어	26 (72.2)	돼	10 (27.8)	36 (100)
	-었/았	되었	34 (77.3)	됐	10 (22.7)	44 (100)
하다	-어/아	하여	11 (3.2)	해	333 (96.8)	344 (100)
	-었/았	하였	5 (2.8)	했	176 (97.2)	181 (100)
놓다	-어/아	놓아	3 (80.0)	놔	1 (20.0)	4 (100)
	-었/았	놓았	0	놔	2 (100)	2 (100)
		非縮約形 合計	134 (17.0)	縮約形 合計	652 (83.0)	786 (100)

2) 単語以上の単位 ②用言の語幹+語尾

実際の発話例

(19) 우리말 **보아도** 'ㅂ' 받침 싫어합니다, 지금도.

[高級部生徒(男)→監督(男)/インタビュー/寮の部屋]

(朝鮮語見ても「ㅂ」パッチム嫌いです、今も)

(20) 자기 타격이 상대의 얼굴에 잘 **가주었**을 때가 가장 재밌습니다.

[高級部生徒(男)→監督(男)/インタビュー/寮の部屋]

(自分の打撃が相手の顔によく行ってくれた時が一番楽しいです)

(21) 자 그러면 25분 **되었으니까** 마치자. [教員(男)→高級部生徒(男女)/授業/教室]

(じゃ、それでは25分になったから終りにしよう)

(22) 선생님이 '여기 청소해 **놓아** 주세요.'하면 남동무는 대체로 삐딱삐딱...

[教員(女)→初級部生徒(男)/授業/教室]

(先生が「ここ掃除しておいてください」と言ったら、男の子たちはだいたい適当…)



まとめ

明らかになった点

- ① 韓国で縮約形と非縮約形の対立がある項目において、朝鮮学校コミュニティでは非縮約形を話し言葉でも多用する傾向が強い。
- ② とくに「마음」「제일」「때문에」「가지고」「그리고」「것으로」「것에」「나는」「저는」の場合、縮約形の使用は1回も確認されず、非縮約形のみが使用されている。 ※総出現回数が5回未満のものを除く
- ③ 「用言の語幹＋語尾」の構造においては非縮約形の使用率が比較的に低く、縮約形の使用が多くなっている。
- ④ 「体言＋助詞」の構造においては非縮約形の使用率が非常に高い。
- ⑤ 縮約形と非縮約形でパッチムの有無が異なる場合(「이것vs이거」「그것vs그거」「무엇vs뭐」)、例外的に縮約形のほうがより多く使用される。

朝鮮学校コミュニティにおいて話し言葉で非縮約形が多用される背景

- ① 40年以上行われてきた書き言葉中心の朝鮮語教育
「話す」ことが「読み書き」より優先され始めたのが6次教科書改訂(2003年)から
- ② 朝鮮学校の生徒たちの朝鮮語の主なインプットは、
「教科書(数学・地理歴史などの一般科目)」と「教員の言葉(教授用語)」
- ③ 本国(韓国・朝鮮民主主義人民共和国)との交流が少なく、
本国から教師が派遣されることもまったくない。
- ④ 朝鮮学校の先生は朝鮮大学校の卒業生でなければならぬため、
「特徴のある朝鮮語」が数世代にかけて継承され、共有される。
- ⑤ 朝鮮学校の生徒たちの主な学習目的は「アイデンティティの獲得」と
「コミュニティ構成員同士の会話」であるため、本国との傾向の違いは
あまり問題にならない。

ほかの言語集団との比較

	在日コリアン・ ニューカマー	在日コリアン・オー ルドカマー1世	在日コリアン・オー ルドカマー3世～	日本語NS 朝鮮語学習者	インターナショナル・ スクール
母語	朝鮮語	朝鮮語	日本語	日本語	多様
第2言語 (又は学習言語)	日本語	日本語	朝鮮語	朝鮮語	英語
両親の母語	朝鮮語	朝鮮語	日本語	日本語	多様
話者集団の コミュニティ性	△	○	○	X	X
第2言語母語話 者との交流	○	○	X	△	○
教師の母語	朝鮮語 又は日本語		日本語	朝鮮語 又は日本語	英語
教師の第2言語 能力	多様		各科目の授業がで きる程度	多様	ネイティブレベル
第2言語の 学習目標	日本語NSとの会 話	日本語NSとの会 話	アイデンティティの 獲得	朝鮮語NSとの会 話	学力
習得・学習時期	成人期	成人期	幼少期	成人期	幼少期
言語の地位	エリート・付加的 バイリンガリズム	大衆・消滅的 バイリンガリズム	エリート・付加的バ イリンガリズム	エリート・付加的 バイリンガリズム	エリート・付加的 バイリンガリズム

今後の課題

- ① 韓国の朝鮮語コーパスの中で各項目がどのくらいの出現率を見せているかを確認し、本発表の結果と比較する必要がある。
- ② 朝鮮学校の教科書において各項目がどのくらいの出現率を見せているか(言語外的要因)を確認し、考察の参考とする。
- ③ 多用されている非縮約形とそうでない非縮約形の違いは何であるか、音韻論的な分析(言語内的要因)を試みる。
- ④ 一般名詞と助詞の間、語尾と助詞、副詞と助詞の間などで起こる縮約形と非縮約形の出現率もさらに調べる
- ⑤ 場面の格式度(フォーマルな状況かカジュアルな状況か)の影響はないか調べる。

参考文献

(1) 朝鮮語文献

권성미(2015)「한국어 듣기 교육 자료의 음운론적 측면에서의 구어성 연구—준말을 중심으로—」『언어연구』30(4), 한국현대언어학회, pp.709-732.

노대규(1996)『한국어의 입말과 글말』국학자료원

임영철·권은희(2012)「재일 조선어 '문어체'의 구어화'에 대한 고찰—다큐멘터리 발화 자료를 중심으로—」『일어일문학연구』81, 한국일어일문학회, pp.211-234.

(2) 日本語文献

植田晃次(2009)「『総連朝鮮語』の基礎的研究—そのイデオロギーと実践の重層性—」『正しさ』への問い—批判的社会言語学の試み—』(野呂香代子・山下仁編著) 第2版, 三元社, pp.111-147.

이리나·킴(1994)「朝鮮総連의 朝鮮語教育—커뮤니티 재생産의 테크놀로지—」『新しい日本観・世界観に向かって』(ジョン·C. 마ーハ/本名信行編), 国際書院.

参考文献

- 申昌洙(2005)「民族教育の歴史と朝鮮学校における朝鮮語教育」『在日コリアンの言語相』(真田真治・生越直樹・任栄哲編), 和泉書院.
- 朴校熙(2013)『分断国家の国語教育と在日韓国・朝鮮学校の民族語教育』風間書房
- 朴浩烈(2007)「在日朝鮮語の研究—言語分析・社会言語学的考察への試み—」『韓国語學年報』3, 神田外語大學 韓国語學會, pp.93-124.
- _____(2016)「在日コリアンにおける言語アイデンティティと言語生活の諸相」『人文・自然研究』10、一橋大学大学教育研究開発センター, pp.197-227.

=====

名古屋大学大学院 人文学研究科 文芸言語学コース
言語学分野・専門 博士後期課程 3年

權 恩熙 (クォン ウンヒ)

メール beforebabel@hotmail.com

サイト <https://kwoneunhee.site123.me>

=====